



5/31 第1回高齢者学級開催!



白水小学校体育館で第1回高齢者学級が開催されました。当日は、講師に初代南阿蘇中学校校長の坂梨正文先生を迎え、「ギター弾きがたり&びっくりマジックショー」と題して、出席した170人の老人クラブ会員に、歌とマジックが披露されました。昭和から令和まで誰もが知る歌謡曲と本物のマジックに、会場からは拍手と感嘆の声が上がりました。終盤には参加者全員へ毛糸のマジックと数字のマジックを教えていただき、楽しい学びの時間となりました。第2回は秋頃開催の予定です。

6/17 移動販売並びに見守り活動に関する協定式



役場大会議室にて、本村と社会福祉協議会、グリーンコープ生活協同組合くまもとによる移動販売並びに見守り活動に関する協定締結式が行われました。この協定は、高齢化や地元商店の減少による買い物困難者対策として移動販売を行うことで、住民に買い物の場を提供するとともに、移動販売時の見守り訪問を実施することで、誰もが安全で安心して暮らせる村づくりを目指して締結するものです。

今後は、災害公営住宅を中心に巡回していく予定です。

6/21 ちょうよう保育園内消防大会



ちょうよう保育園で園内消防大会が開催されました。この取り組みは幼いころから火災予防に関する知識や消防の仕事を理解してもらうために毎年実施されています。

当日は、園児25人による「幼年消防クラブ」が設立されたほか、通常点検やミニポンプ操法の実演も行われ、保護者や消防関係者たちに大きく成長した姿を見せてくれました。その後は南部分署職員による消防に関するクイズやけむり体験などが行われ、園児たちは火災予防について学ぶことができました。

6/27 第1回伝承料理教室を開催しました



保健センターにて第1回伝承料理教室が開催されました。この取り組みは食文化発信の拠点になるよう村の伝承料理や熊本の食の技の普及啓発活動として行われています。当日は村民13人が参加し、村内にお住まいの6人の「食の名人」(県知事認定)の皆さんから「こぶりがえしだんご(よもぎだんご)」の作り方を教えてもらいました。

参加者からは「楽しかった」「簡単に作れるので家でも実践してみたい」との声もありました。皆さんも伝承料理教室に参加し村の郷土料理と一緒に残していきましょう!

6/22 第15回福祉運動会開催



白水小学校体育館にて第15回福祉運動会が開催されました。福祉運動会は村内の高齢者が運動を通して健康保持と生きがいの高揚とお互いの親睦を深め、地域福祉の推進を図るために行われています。当日は約700人の参加があり、パン食い競走や玉入れなどの種目が行われ、参加した老人クラブの皆さんの和気あいあいと楽しむ姿が見られました。

閉会式では今年から始まった90歳以上の参加者への特別表彰が行われ、記念品を贈呈。受け取った参加者は非常に喜ばれていました。



7/1 株式会社ソラシドエアと 包括的連携協定を締結



役場大会議室にて、本村と株式会社ソラシドエアとの包括的連携協定締結式が行われました。この協定は、観光や地域産業などについて包括的に連携することで地域社会発展に寄与することを目的に締結されています。

今後は「ただのいなかじゃなかーよ。南阿蘇GO」の運航延長や、ソラシドエアオンラインショップでの南阿蘇産製品の販売、南阿蘇鉄道とタイアップしたツアーの開始など、さまざまな取り組みが行われる予定です。

7/2 運転再開1周年を祝う七夕飾り



喜多わくわく会の皆さん

長陽駅にて、通いの場「喜多わくわく会」の皆さんによる七夕の飾り付けが行われました。この取り組みは七夕を祝うだけでなく、7月15日の南阿蘇鉄道全線運転再開1周年を記念して飾られていました。

当日は、参加された皆さんがそれぞれの願いや全線運転へのお祝いの気持ちを記され、長陽駅一帯に鮮やかな短冊が飾られました。

喜多わくわく会の皆さんは「再開1周年を迎えることができ嬉しい」「伝統のある長陽駅を元気にしていきたい」などと話されていました。



7/2 みんなで支える明るい地域作り



阿蘇地区保護司南部分会・村更生保護女性会の皆さん

7月の「社会を明るくする運動強調月間」に伴い、社会を明るくする運動の啓発を目的として、役場西会議室内閣総理大臣と県知事のメッセージの伝達式が行われました。

この運動は、すべての国民がそれぞれの立場において力を合わせて犯罪や非行のない安全で明るい社会を築こうとする全国的な取り組みです。

木村知事からは「犯罪のない明るい社会が1日も早く実現できるよう、本運動にご参加いただきますことを心から願っています」と伝達をいただきました。

今後も非行防止や薬物の危険性を訴える活動や犯罪や非行をした人の立ち直りを支援する活動が行われます。

7/9 保育園児へトマトの贈り物



くぎの保育園でJA阿蘇南部トマト部会からトマトの贈呈がありました。このトマトの贈呈は毎年実施されているもので、村内の3保育園に対してトマトをプレゼントしています。

保育園を訪れた部会員さんからは、「たくさんトマトを食べて元気に遊んでください」と箱いっぱいトマトが代表の園児に手渡され、園児たちは「おいしくいただきます」とお礼の言葉を述べました。

保育園にヒノキのベンチが来ました



ヒノキのベンチに喜ぶちようよう保育園の園児たち

村内の3保育園に県産のヒノキで作られたベンチが納品されました。このベンチは昨年12月の子ども議会で、南阿蘇中学校の生徒から「木のおもちゃやモルック、リースなどの飾り物をつくり保育園に提供してはどうか」という提案を受けて、今年度から始まった森林環境贈与税を活用し導入されました。

ベンチは低く、角が丸いため園児たちが安全に使いやすいデザインになっており、座った園児たちからは笑顔が見られました。

いつまでもお元気に百歳の表彰とお祝い



後藤千代子さん(白川)が百歳を迎えられ、表彰状とお祝いが贈呈されました。後藤さんは大正13年5月1日生まれで、結婚されてからは農業を営まれ、若い頃から働き者だったとご家族が話されました。趣味は裁縫や折り紙、ビーズ制作など、手先を使うものづくりで、家の中には後藤さんが作られた作品が数多く飾られていました。長生きの秘訣をお尋ねすると「食べ物をなんでも好き嫌いなく食べること」と、にこやかに話しされました。